



平成28年度 第4回市議会定例会報告書

会派を代表して 2度目の代表質問

平成28年度札幌市第4四回定例市議会（4定議会）が平成28年11月29日から12月13日までの日程で開かれ、私は自民党会派を代表して12月5日に代表質問に立ちました。

の新たな整備、多くの外国人で賑わう観光、そして、2度目のオリンピック招致への取り組みなど、未来の姿を左右する大きな事業が控えている一方で、我が国が人口減少社会を迎える中、札幌の人口もここ数年のうちに減少に転じることが見込まれ、経済のパイも今後減少してしまうことも懸念されます。

そこで私は、この代表質問の大きなテーマの一つに「外貨を稼げるまちづくり」を掲げ、国内外の活力を取り込みながら新たな発展を刻んでいく札幌の未来の姿を、市長に問い合わせました。





主な質疑内容

- 外貨を稼げるまちづくりについて

○重点分野産業の市場創造について

〔成果〕 札幌市産業振興ビジョンで重点分野としている「観光」、「食」、「健康福祉」、「環境・エネルギー」などの分野で、国内外からヒト・モノ・投資を呼び込んでいくための市場創造や都心の再開発を進める。そのために民間との連携を積極的に行う。

○中央区役所立替えや札幌芸文館閉館後の土地利用など「西11丁目地区」の将来像について

〔成果〕 都心部でありながら、近隣に住宅地も控えている特性なども踏まえたうえで、適切な民間活力導入のあり方を検討する。

○国内外の活力を取り込むスポーツ戦略について

〔成果〕 冬季オリンピック・パラリンピック（冬季オリ・パラ）で目指す街の将来像について

〔成果〕 オリ・パラ開催を一時的なイベント効果を稼げるまちづくりについて

○低所得者に対する就労支援について

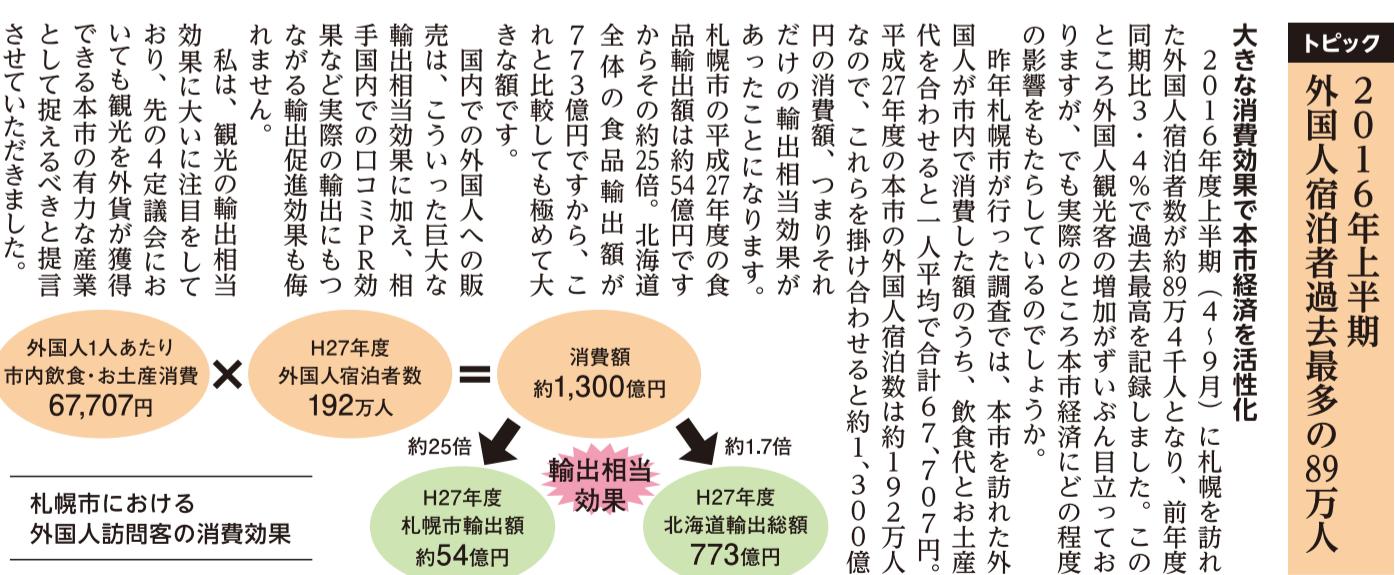
○生活保護受給者等の雇用促進のため、国の新しい助成制度を活用していく。

〔成果〕 生活保護受給者等の雇用促進のため、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）などソーシャルファンドを活用した行政課題への対応について

○社会保険費の増大が今後避けられない中、民間の事業ノウハウや資金を活用した新しい事業手法について研究していく。

○中央区など児童増加地域における学校施設の改築前倒しについて

〔成果〕 学校改築の順位検討に際しては、基本である建築年次に加え、校区内の児童生徒数の将来推計なども重視して総合的に検討していく。



札幌市議会議員

中川賢一

中川賢一 市政事務所

〒064-0920 札幌市中央区南20条西6丁目4-10

TEL 011-520-0001 FAX 011-520-8888 URL daisuki-sapporo.net

大好き札幌 通信 (平成29年冬号)

大川 駿一郎 二〇二二年九月

kenichi nakagawa profile

1967(昭和42)年1月9日 札幌市生まれ ● 緑が丘小学校、伏見中学校、札幌南高校卒業 / 東北大学経済学部経済学科卒業 / シンガポール国立大学エクステンション・プロフェッショナル・ディプロマ・アジア・パシフィック・マーケティング終了 ● 平成元年 北海道拓殖銀行入行 / 平成6年 北海道庁奉職・主に経済政策、観光、国際ビジネス支援などの分野に従事 / 平成15年 北海道シンガポール事務所駐在員・道庁退職後、札幌国際大学非常勤講師(国際観光)、札幌商工会議所附属専門学校北海道観光学科講師・食料品企画開発・輸出、経営コンサルティングなどに従事 ● 平成27年 札幌市議会議員 当選(1期目) 札幌市議会総務委員会委員、総合交通調査特別委員会委員 ● (公職) NPO法人コンパサーレ(障害者職業訓練・就業支援)理事 / 一般社団法人北海道農水産物事業者協会顧問 / 一般社団法人ビジネスコミュニケーション協会顧問 / 一般社団法人北海道タイ親善协会理事 / 鶴々川を清流にする会顧問 その他 ● (好きな言葉) しあわせはいつも自分の心が決める ● (家族) シンガポール出身の妻と一男一女 / 愛犬2頭 ムギ&ホップ(双子のゴールデンレトリバー)

中央区役所の建て替え決定

1972（昭和47）年に建設された現在の中央区役所は、老朽化が進み、全10区の区役所庁舎で耐震基準を満たしていない唯一の庁舎です。そのため早急な建て替えが課題となっていましたが、先の10月の3定議会において市長から現地での建て替えが表明されました。

私はその3議会決算特別委員会において、区役所の建て替えにあたっては、隣接する「区民センター」や「保健センター」



といった公共施設の老朽化も見据え、一体で「複合施設」の方向性を検討すべきことや札幌中心部という立地条件にふさわしい人の賑わい拠点とすべきことを提言し、市役所側の理解を得

ることができました。
新しい区役所が市民の皆様にとって快適で楽しい拠点となるよう、しっかりと動向を注視していきたいと思います。

豊平川のパークゴルフ場が使いやすくなりました

11月6日、以前から要望のあった豊平川河川敷のパークゴルフ場にアクセスする階段が完成しました。

中央区の数少ないパークゴルフ場なので、これまでには河川敷に降りる階段が遠く、多くの利用者が護岸ブロックを無理に降りていました。高齢者には危険であり、中央区のパークゴルフ同好会などから新しい階段の設置の要望を受けおりましたので、私は昨年から市や河川管理者である国と協議を進めてきました。



一般的に国との協議などには時間がかかるのですが、防災的視点なども訴え、また、地元選出の長谷川岳参議院議員のご協力もいただきながら、何とか28年中計画、工事実施、完成の運びとなりました。

これでご高齢の方も安全にパークゴルフ場に足を運んでいただけると思いますので、春のシーズンスタートが楽しみです。

働く女性の子育て環境改善に期待

事業所内保育所の開設が活発に

札幌市では平成27年度中に1,200人を超える保育員の拡大を行いましたが、「希望の保育所に行けない」などといった理由で諦めてしまう「潜在待機児童」も含めると、実質的には待機児童は相変わらず増えている状況です。

そんな中このところ目立っているのが、企業が従業員などのために事業所内に設置する「事業所内保育所」。札幌でも東急百貨店が従業員やお客様、近隣で働く方などの子どもを預かる施設を開設するなど注目されてきています。これまでも「勤務地の近くで預けたい」という働く

女性のニーズは多かったものの、規制等が厳しく認可がなかなか取れないのが実情でしたが、平成27年に政新制度」を新たにスタートさせ、事業所内保育事業に取り組みやすくなつたことが大きな要因です。

私はかねてより企業が従業員の子育て環境を整えていくことに大いに期待を抱いており、先の3定議会では、札幌市も企業に対し国の支援制度を活用するよう積極的に働きかけるなどして、事業所内



地域の防災活動

避難所宿泊体験訓練

宮の森大倉山連合町内会では毎年避難所宿泊体験訓練を行っており、私も参加させていただきました。通

常時から地域で防災対策を組んでいても、いざという時にはなかなか上手に入り、何をどうすればよいのか、いろいろな事態にどう対処したらよいのか体験し、自分達で考えることは大変有意義だと思います。



安倍総理が掲げる「地方創生」。これから日本を支えるのは地域の力です。南北に長い日本には、多様な地域の個性と営みがあります。これらの多様な力が日本再生の原動力となるはずです。日本の最も北に位置する北海道。大きな可能性を有するこの大地を牽引するのが札幌の使命であり、我々が動かなくてはなりません。私中川は地域の皆さんとの声に耳を傾け、ともに知恵を出し、汗をかき、札幌発の「地方創生」を進めていきたいと考えています。一緒に札幌の未来を創り上げていきましょう！

中川とともに「地方創生」を!

